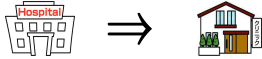


治療について（C型肝炎 地域連携パス）
病院からかかりつけ医へ

平成 年 月 日



HCVによる慢性肝炎が疑われ、以下のいずれかの処置をお勧めします。

- ①抗ウイルス療法 ②肝庇護療法 ③経過観察

【① 抗ウイルス療法】

- * ペガシス (μ g) + コペガス (mg) 48週間
- * ペガシス (μ g) + コペガス (mg) 24週間
- * ペグイントロン (μ g) + レベトール (mg) 48週間
- * ペグイントロン (μ g) + レベトール (mg) 24週間
- * ペガシス単独投与 (μ g) 週間
- * インターフェロン単独投与 (種類) 週間

をお勧めします。

初期導入を当院で実施後、貴院へ患者様を紹介申し上げます。また、別紙の地域連携パス（IFN治療）をご利用願います。

なお、治療終了まで当院での治療をご希望の際は、ご連絡ください。

【② 肝庇護療法】

- * ALT（GPT）は基準範囲ですので経過観察で良いと考えます
- * ウルソデオキシコール酸(ウルソ) または他の経口肝庇護剤
- * 鉄除去療法（瀉血と鉄制限食）
- * 強力ミノファージェンCの静注 1回 ml 週 回
- * インターフェロンの単独少量長期投与（種類 ） 1回 回/ 週

をお勧めします。

ウイルス性慢性肝炎の経過観察として、別紙の地域連携パス（経過表）ご利用願います。
腹部US、CT、MRIなどの画像検査、上部消化管内視鏡検査が必要な場合はご連絡ください。

【③ 経過観察】

現時点では加療の必要はなく1年()回の血液・生化学検査と、1年()回の腹部US、CT、MRIなどの画像検査で経過観察が必要です。

その他連絡事項；